

ふれあい

FUREAI vol. 216 2026 [冬号]

社会医療法人 仁愛会 広報誌

特集

心臓血管外科



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。 本年もよろしくお願いいたします。

皆さまと築く地域の未来と安心の暮らし

皆さまには、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年も多くの皆さまに支えられ、地域の医療・介護・福祉を共に築くことができました。心より感謝申し上げます。

私たちは「地域住民のニーズを満たす保健・医療・福祉」という原点を胸に、一人ひとりの想いに寄り添い、安心と笑顔のある暮らしを支えてまいります。これからも職員一同が使命感を持ち、地域の皆さまに信頼され続ける施設として成長していけるよう努めてまいります。

本年も皆さまと共に、より良い地域の未来をつくっていける一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

在宅総合センター長 古謝 早苗

地域に信頼される医療・保健・福祉を職員一同で

早いもので新病院への移転から2年が経過しました。職員の頑張りや地域の皆様のご支援のおかげで病院の運営も徐々に軌道に乗ってきており、あらためて感謝申し上げます。

さて、昨今の医療を取り巻く環境は、かつてない厳しさを増しております。深刻な人手不足、エネルギーや人件費、食糧費などの物価高騰、診療報酬の抑制も挙げられ、私たち医療機関の経営を直撃する課題が山積しております。当法人は、これらの諸問題に対して最善の努力を行い、地域の皆様に信頼され、ご満足のいただける医療・保健・福祉のサービスを提供できるよう職員一丸となって取り組んでまいります。

本年が皆さまにとりまして健やかで実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

理事長 銘苅 晋

信頼され、愛され、選ばれる病院を目指して

昨年は世界情勢の変化や物価高騰により、私たちの生活や医療現場にも大きな影響を与えました。また、国の「新たな地域医療構想」の策定が進み、医療の効率化やDX化、病院の機能分化・連携・再編が加速しています。

激動する社会の中で限られた医療資源を最大限に活かし、浦添総合病院は「高度急性期医療」「救急医療」「がん診療」を軸に、地域の中核病院として質の高い医療を提供し続けます。

「患者様のために」「地域のために」「職員のために」を職員一人ひとりが胸に刻み、より多くの患者様に「最良の医療」を提供していきたいと思えます。

「信頼され、愛され、選ばれる病院」を目指し、職員一同力を合わせて歩んでまいります。

浦添総合病院病院長 伊志嶺 朝成

デジタル化で進化する健診と健康支援体制

浦添総合病院健診センターは、2026年も引き続き沖縄県民の健康を守る重要な役割を果たします。

地域の皆様の健康寿命の延伸に努め、当センターをご利用いただいた皆様の健康・医療情報のデジタル化を進め、更に健康教育を通じて生活習慣改善を促進します。私たちは本年も年間4万人余の健診を実施し、地域の医療機関や自治体と連携し、包括的な健康支援体制を構築します。

利用者の皆様の健康状態が改善することで、皆様の生活が充実し、皆様を取り巻く社会が健康に成長するために全力を尽くしてまいります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

浦添総合病院健診センター院長 福本 泰三



特集

心臓血管外科

心臓血管外科顧問

國吉 幸男

心臓血管外科医師

小泉 景星

対談

Q. 当院の心臓血管外科の特徴・強みについて教えてください。

國吉医師

当院の強みは「病院全体で心臓手術を支える体制」が確立していることです。

かつては医師だけで検査から術後管理まで担っていた時代もありましたが、現在は各部門が専門性を発揮しながら患者さんにとって最適な治療を共に考えながら動いてくれます。循環器内科・麻酔科・腎臓内科・救急集中治療部・看護師・臨床工学技士など、多くの職種が連携し、それぞれの役割を果たしてくれることで、我々は手術に集中できる。理想的な医療の形だと感じています。

小泉医師

琉球大学を中心とした地域医療連携も大きな強みです。複雑な症例では大学と連携して手術に臨むこともあり、地域にいながら高度な医療を受けられる体制が整っています。また、循環器内科との連携が非常に密で、紹介患者さんも増えています。治療件数が増えることで、医療チーム全体の経験値が上がり、よりよい医療提供につながっています。

Q. 特に重視されている「チーム医療」の取り組みは？

國吉医師

心臓血管外科は、外科医一人では決して成り立たない医療です。手術前は循環器内科の丁寧な診断、手術中は麻酔科・臨床工学技士・手術室スタッフが支え、術後は救急集中治療部・病棟看護師・リハビリスタッフ・管理栄養士・相談支援員まで、多職種が力を合わせています。近年、私たちの手術件数が増えたことに伴い、術後管理についても各部門で連携と知識共有を進めてきました。その結果、外科以外のスタッフの専門性もより高まり、外科医

が次の患者さんの準備に集中できる環境が整ってきています。「一人も取りこぼさない医療」その実現に向かって、チーム全員が同じ方向を向いて取り組んでいます。

小泉医師

循環器内科との連携は非常に密で、紹介から手術までの検査・調整がスムーズに行えることは大きな強みです。また、術後患者さんが安心して生活へ戻れるよう、リハビリスタッフと協力し、退院後の体力維持にも力を入れています。治療はゴールではなく、「元気に帰って、また活躍できるように」ここまで支えることが心臓外科医の役目だと思っています。



Q. 患者さんに伝えたい“気づきのサイン”、“ちょっとした息切れ”や“むくみ”など、日常にある症状の中にも心臓病のサインが隠れていると聞きます。患者さんが“これは相談していいのかな？”と迷ったとき、どう判断すればよいでしょうか？

國吉医師

心臓の病気は、ある日突然ではなく、少しずつ進行していることが多いのです。



たとえば、

- ・ 少し歩くだけで息が切れるようになった
- ・ 階段が以前より辛く感じる
- ・ 何となく疲れやすい

「年齢のせいかな」と我慢されがちですが、こうした日常の変化が心臓からのサインということがあります。特に、高血圧・糖尿病・腎臓病などがある方は、動脈硬化が進みやすく心臓への負担が大きくなります。少しでも不安を感じたら、ご相談ください。早期発見は、患者さんの未来を大きく変えます。

小泉医師

大動脈の病気は、症状が出にくいまま進むことがあり、気づいた時には危険な状態になっていることもあります。そのため、健診での定期的なチェックはとても重要です。特に、胸の痛みや違和感を感じた場合には、無理をせず受診してほしいと思います。また、「最近、息が続かない」「動くのが億劫になってきた」など、体力の低下を感じるときも注意が必要です。迷ったら、どうか遠慮なく受診してください。少し早い相談が、命を守ることにつながります。

Q. 最後に、地域の皆さま、これから医療を志す若者に向けて、“技術”と“心”を次世代へどう伝えていきたいか、お話しいただけますか？

國吉医師

技術は言葉で伝えられるものではありません。手術に入り、先輩医師の判断を自分の目と感覚で学ぶことが重要です。心臓血管外科は、一生を懸ける価値のある仕事です。培った経験をこの浦添でしっかりと後輩へつなぎ、「ここなら任せられる」と地域に思ってもらえる医療を継承していきたいと思います。

小泉医師

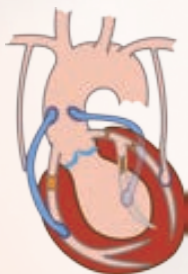
重症な状態から回復へ向かう患者さんの姿を見ると、この仕事の大きなやりがいを実感します。先輩医師たちの誇りと覚悟ある姿に惹かれ、この道を志しました。その技術と心を受け継ぎ、私自身も次の世代につないでいきたい。浦添から、一人でも多くの患者さんを救うために挑戦を続けていきます。



Treatment 当院での治療

冠動脈の手術

狭心症や心筋梗塞等の虚血性心疾患に対し、自分の血管を用いて血流改善を図る冠動脈バイパス術が標準的な治療です。



弁膜症の治療

心臓の4つの部屋の出口にある弁膜が狭くなったり、閉じなくなったりするのが心臓弁膜症です。それを修復したり、人工弁に取り換えたりして心臓の機能を保つ手術を行っています。最近是小開胸で手術を行うMICS手術も導入し適応のある症例には積極的に行っています。弁膜症にはゆっくりと進むタイプと症状が軽くても急激に進行するタイプがあります。適切な治療タイミングで手術を行っています。

大動脈の手術

急性大動脈解離、大動脈瘤破裂等の急性大動脈症候群は突然発症する生命予後不良の疾患であり、迅速に手術治療を行っています。胸部大動脈瘤や腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術の他に、当院では局所麻酔下に胸部・腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術を行っており、高齢者や全身麻酔のリスクが高い患者にも可能な負担の少ない治療を提供しております。

ステントグラフト手術とは？



低侵襲

短期入院

早期
社会復帰

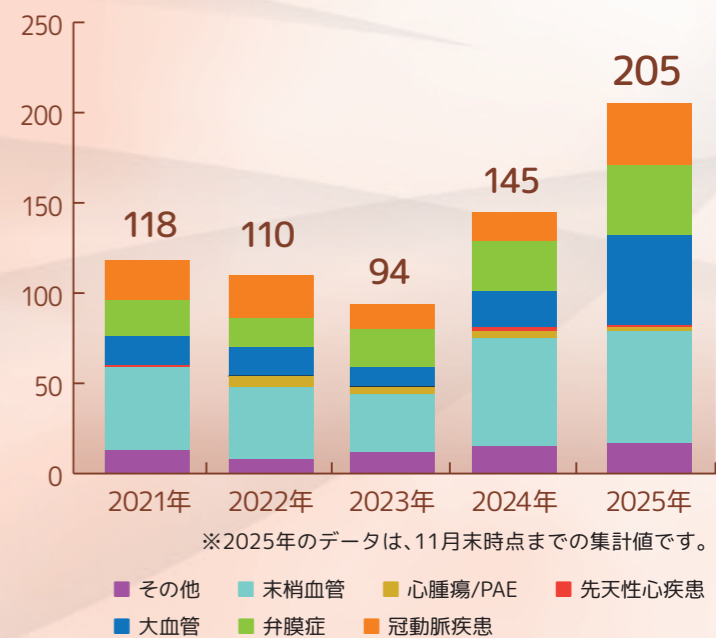
従来の大動脈瘤手術（開胸・開腹手術）と比較し身体負担を少なく、カテーテルによって動脈瘤の治療を行う方法です。

当院では**局所麻酔**での治療も行っております。よりご高齢の方、持病をお持ちの方にも手術が可能となりました。

基本的に**4泊5日入院**で治療を行っております。安静時間も短時間ですので、体力の低下を予防できます。

退院後に生活や運動の制限はありません。傷は5mm程度ですので、入浴や車の運転も可能です。

Data 診療実績



Doctor 医師紹介



心臓血管外科顧問
國吉 幸男

卒後40年以上にわたって心臓血管外科診療に従事し、約10,000症例の臨床経験を積ませていただきました。現在は当院にてこの経験を基に、後進の指導を中心に診療を行っています。この臨床経験がわたしの宝です。

【専門分野】

成人心臓外科
成人先天性心疾患
大血管外科(大動脈瘤、大静脈疾患)
人工臓器(補助人工心臓植込み)
Budd-Chiari症候群の外科治療
末梢血管外科(閉塞性動脈硬化症等、下肢静脈瘤)

【専門医・資格等】

医学博士(琉球大学)
琉球大学名誉教授
日本外科学会 外科専門医・指導医
日本胸部外科学会 認定医・指導医
日本心臓血管外科学会 専門医・特別会員
日本心臓血管外科専門医認定機構修練指導者
日本脈管学会 脈管専門医・指導医
日本血管外科学会 第39回会長・名誉会員
日本静脈学会 第34回会長・名誉会員
米国胸部外科学会 国際会員(STS)
米国血管外科学会 国際会員(SVS)



心臓血管外科部長
新垣 勝也

琉球大学卒業後、琉大第二外科で研鑽を積み、2011年から当院で診療を行ってきました。心臓の手術は患者さんからすればめったにない人生の一大事。そんな手術を安心して受けられるよう、安心して元の生活に帰れるように、また、浦添で治療を受けて良かったと思ってもらえるように誠心誠意をもって診療に努めています。これからもどうぞよろしくお願いします。

【専門分野】

成人心疾患および大血管領域
末梢血管外科(閉塞性動脈硬化症等、下肢静脈瘤)
透析用シャント

【専門医・資格等】

日本外科学会 外科専門医
日本胸部外科学会 認定医
日本心臓血管外科学会 専門医
日本胸部外科学会九州地方会 評議員



心臓血管外科医長
盛島 裕次

2013年より琉球大学医学部胸部心臓血管外科より当院へ配属を受け賜わり、現在に至ります。周辺地域の方々の生命、健康長寿を循環器病から守ることを目標として日々の診療に携わっております。

【専門分野】

心臓血管外科
末梢血管外科(閉塞性動脈硬化症等、下肢静脈瘤)
透析用シャント

【専門医・資格等】

日本外科学会 外科専門医
日本心臓血管外科学会 専門医
日本心臓血管外科専門医認定機構修練指導者



心臓血管外科医師
小泉 景星

初めまして。私は県外の出身ですが、沖縄の土地や文化に魅せられ2024年より当院で診療させていただいております。少しでも地域の患者様、先生方に貢献できるよう日々努力してまいります。お困りごとございましたらお気軽に当院にご相談いただければと思います。

【専門分野】

成人心臓外科
大血管外科
ステントグラフト手術
末梢血管外科(閉塞性動脈硬化症等、下肢静脈瘤)

【専門医・資格等】

日本専門医機構 外科専門医
腹部ステントグラフト実施医・指導医
胸部ステントグラフト実施医
下肢静脈瘤血管内レーザー焼灼術実施医
VenaSeal クロージャースystem実施認定医
弾性ストッキング圧迫療法コンダクター

“その人らしさを支えるケアを”



認知症ケアチーム(DCT)

認知症ケアチーム(DCT)とは

当院は急性期病院として、身体疾患を抱えた多くの方の治療を行っています。その中には、認知症のある患者さんも多く含まれており、慣れない入院環境や身体の不調に対し、不安や混乱を感じることがあります。

そうした方々が少しでも安心して入院生活を送れるよう、2024年6月に「認知症ケアチーム(DCT: Dementia Care Team)」を立ち上げました。

DCTでは、病棟看護師などと連携し、環境の調整や関わり方の工夫を通して、認知症のある患者さんが「その人らしく」適切な治療を受けられるよう支援しています。

チームメンバー

- ・医師
- ・病棟看護師
- ・認知症看護認定看護師
- ・社会福祉士



活動内容

01 病棟ラウンド・カンファレンス

認知症看護認定看護師を中心に、病棟を訪問して、チームメンバーと話し合いを行い、療養生活がより良いものになるよう支援しています。

02 お薬の調整についてのサポート

治療薬の見直しや、必要に応じてお薬を使った対応について提案することもあります。

03 ケアマニュアルの作成・改善

病院全体で活用できる認知症ケアのマニュアルを作り、より良い支援ができるよう見直しを続けています。

04 環境づくりとケアの工夫

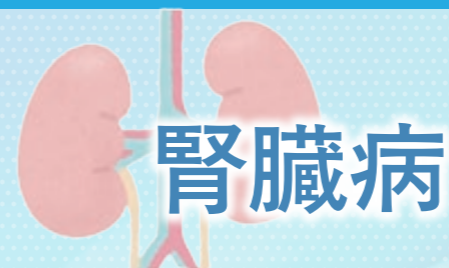
不安や混乱を和らげるために、お部屋の環境を整えたり、患者さんの力を活かすケア方法を提案しています。

05 身体抑制を減らす工夫

なるべく身体を縛らないケアができるよう、代わりの方法を一緒に考えています。

06 院内研修の実施

病院スタッフ向けに研修会を開き、認知症への理解とやさしい関わり方を広めています。



教室開催



腎臓内科
上地医師



管理栄養士
山城さん



12月4日(木)に開催した「腎臓病教室」には、地域の皆様や患者さん、ご家族など、大変多くの方にご来場いただきました。予想を上回る来場者のため、会場は立ち見が出るほどとなり、腎臓の健康への高い関心がうかがえました。

専門医と栄養士が徹底解説

健康診断の結果で気になる「腎臓に関わる検査の数値の見方」をわかりやすく解説。さらに、「異常が見つかった時の治療の流れ」や、「日常生活でこれだけは気をつけたい注意ポイント」など、具体的なアドバイスがあり、参加者は真剣に耳を傾けていました。

また、「腎臓を守る食事のコツ」について、無理なく続けられる工夫やレシピのヒントを紹介し、大変好評となりました。

ひとりじゃない、みんなでー リレー・フォー・ライフ ジャパン 2025 おきなわ

いのちを想い、希望をつなぐ

がん患者やご家族、支援者が命の尊さと希望を分かち合うチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ ジャパン 2025 おきなわ」が、11月8日(土)～9日(日) 沖縄大学アネックス共創館で開催されました。

支え合う力が、地域を明るくする

当日は、がんを経験した方々が先頭を歩く「サバイバーズラップ」からスタート。ルミナリエの灯りをともして命を想うセレモニーや、音楽ステージなど多彩な催しが行われました。夜通し続く「リレーウォーク」では、参加者が思いをつなぎながら「ひとりじゃない」という絆を確かめ合いました。温かい笑顔と励ましの輪が広がる、感動的な一夜となりました。

当法人もこの趣旨に賛同し、職員や家族がチームとして参加しました。地域全体が「がんに負けない社会」への願いを新たにしたいイベント。今後も当法人は、地域の皆さまとともに希望の光を未来へつないで参ります。

当院、
宮里医師による
「いのちの授業」



浦添総合病院ブース



キーホルダー作成



オープニング式典



ルミナリエの灯り

ゆいレールまつりで



“三二医療体験”に挑戦！

11月8日(土)に開催された「ゆいレールまつり 2025」に、浦添総合病院の看護部と薬剤部が参加し、こどもたちが医療のしごとを楽しく学べる体験ブースを出展しました。当日は多くのファミリーが来場し、会場は終始にぎやかな笑顔であふれました。



ユニフォーム 試着コーナー

ナース服に身をつつんで“看護師さんになりきり体験”。「かわいい!」「似合ってるよ」とご家族からの声も多く、撮影スポットとして大人気でした。



聴診器 コーナー

本物の聴診器を使って、ぬいぐるみの胸にあてて音を聞いてみる体験。「どんな音がするの?」「先生みたい!」とワクワクしながら耳を澄ませるこどもたちの姿が印象的でした。



包帯巻き コーナー

ケガをしたぬいぐるみに包帯を巻いてあげるケア体験。看護師が優しくサポートし、上手に巻けたときには「できた!」と嬉しそうな笑顔がこぼれました。



おくすり体験 コーナー

お菓子を“お薬”に見立てて、お名前を書いて世界にひとつだけの“オリジナル薬袋づくり”に挑戦!完成した薬袋を大事そうに持ち帰るこどもたちの姿がとても微笑ましいコーナーとなりました。



地域のこどもたちに医療の楽しさや身近さを感じてもらえる貴重なイベントとなりました。仁愛会はこれからも、地域とつながりながら医療への興味・理解を深める取り組みを続けてまいります。

第6回 マチナトがんどじゅうフェア開催!



みんなでつくる、笑顔あふれる地域



体験・交流・学びでつながる地域の輪

11月15日(土)、コープ牧港にて「子どもから高齢者まで、障がいの有無に関わらず安心して暮らせる地域づくり」をテーマに、第6回マチナトがんどじゅうフェアが開催されました。会場には骨密度測定や缶バッジづくり、ちびっこ遊びコーナー、がんどじゅうカフェなど、多世代が楽しめるさまざまなブースが並びました。



缶バッジ
作り



子ども向け
遊びコーナー



健康
チェック



血管年齢
測定



健康相談
ブース

地域とつながる

「うらそえっ子コミュニティフェスタ 2025」



11月15日(土)、浦添小学校にて「うらそえっ子コミュニティフェスタ」が開催されました。「地域を知り楽しもう!」をテーマに、地域住民・自治会・学校・事業所が協力し、さまざまな展示や体験型のブースが並び、会場は終日賑わいを見せました。



ドクターカー見学&救急体験

浦添総合病院では、今年もドクターカーの展示を実施。車内には救急バッグや医療機器が並び、来場者は救急救命士の説明を受けながら見学しました。また、救急看護師による心臓マッサージの体験も行われ、参加者自身の手で胸骨圧迫を実践する場面も。命を守る手技を、体験を通して学ぶ貴重な機会となりました。



リハビリ&防災カップづくり体験

初参加となったリハビリテーション部では、リハビリスタッフが簡単な体操を紹介。子どもから高齢者まで一緒に身体を動かすことで、健康の大切さを楽しく実感できる場となりました。

また、地域包括支援センターさっとんは、WA KIMIZU会との協力で「防災カップづくり」ワークショップを開催。身近な素材で作る雨具に、子どもたちは興味津々。遊びながら防災意識を育む良い機会となりました。





PUSHプロジェクトとは

突然、目の前で人が倒れたとき。その瞬間、あなたの“その手”が命を救うかもしれません。

「PUSHプロジェクト」とは、誰もが短時間で学べる心肺蘇生法（胸骨圧迫）とAED（自動体外式除細動器）の使い方を体験できる講習です。“PUSH=押す”というシンプルな行動を通じて、「助けたい」という気持ちを“実際の行動”に変える力を育みます。

救急車が到着するまでの数分が生死を分ける時間。

心停止後、電気ショックが1分間遅れると救命率が10%下がってしまいます。迅速に胸骨圧迫とAEDを使用することで救命率は約4倍に上がるとわれています。

PUSHプロジェクトでは、このゴールデンタイムに迅速かつ正確な心肺蘇生法（胸骨圧迫）の知識とスキル、AEDの使用を広く普及させることを目的としています。

たった45分で学ぶ『救命の第一歩』

音や光に合わせて胸骨圧迫を練習する「あっぱくん」を使用。AED操作も実際に体験できる、シンプルでわかりや



すい内容です。

学校・企業・地域イベントなど、さまざまな場所で開催されています。

NAHAMARASONでもPUSH講習を実施！

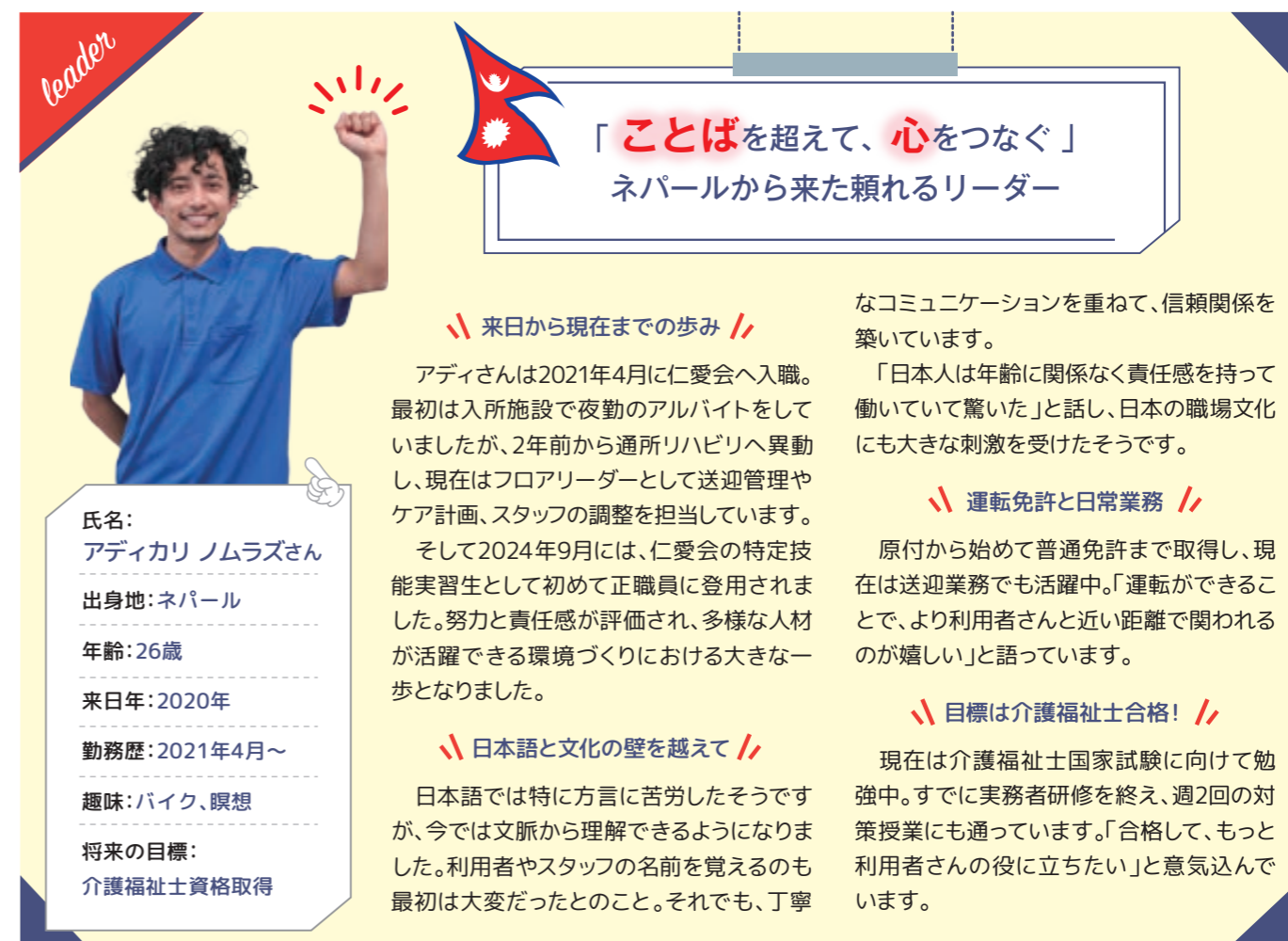
12月6日(土)、NAHAMARASONのランナーを対象にPUSHコース講習会が開催され、約60名が参加しました。講習会中には積極的な質問が飛び交い、参加者は熱心に受講していました。また、実践を通じて緊急時の対応スキルを習得し、真剣な様子で救命処置について学んでいました。



年間60回以上、地域での講習を開催

沖縄PUSHネットワーク（浦添総合病院）では、地域の学校・企業・団体を対象に、年間およそ60回のPUSH講習会を実施しています。学生から高齢の方まで幅広い世代が参加し、命を守る知識と技術を学んでいます。今後も“地域で命をつなぐ文化”を育てていくため、講師派遣や出張講習にも積極的に取り組んでいきます。

【お問い合わせ先】沖縄PUSHネットワーク（浦添総合病院）TEL：098-877-2571



浦添総合病院では 2人主治医制 を推進しています

「2人主治医制」とは、ひとりの患者さんに対し、当病院の医師と地域のかかりつけ医が連携し、共同で継続的な治療を行うことです。紹介状を通して、患者さんの診察状況を共有します。

浦添総合病院



主治医

節目の治療

専門的な検査や治療が必要な時

紹介

連携

逆紹介

症状が安定した時

かかりつけ医



主治医

日頃の管理

連携医療機関のご案内

当院では、地域のかかりつけ医である連携医療機関の先生方と共同して、切れ目のない医療の提供を目指しています。今回は沖縄県内各地の連携医療機関の中から「TONARI CLINIC」をご紹介します。

TONARI CLINIC

TEL:098-975-5112 FAX:098-975-5113

〒901-2101 沖縄県浦添市西原2-4-1 P's SQUARE2階

《診療科目》 内科、消化器内科、内視鏡内科(英語対応可能)

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前の部 9:00~11:30	／	○	○	○	○	○	／
午後の部 14:00~16:30	／	○	○	○	○	★	／

休診日：月曜、日曜、祝日 ★土曜の午後は内視鏡のみ

専門医による消化器内視鏡を中心に、小学生以上の一般内科(高血圧、糖尿病等の生活習慣病含む)、消化器内科専門外来、各種ワクチン、英語診療を行っています。内視鏡・超音波・レントゲン等を備え、小規模ならではの細やかな診療を提供し、必要時は基幹病院と責任をもって連携いたします。



院長
木村 典世先生



案内図



当院では、地域医療支援病院としての機能やサービス内容、特色などを地域へ発信し、各連携医療機関とのシステムづくりを行っています。

連携医療機関は
こちらからご覧ください



日曜の午前でサクッと受ける

宜野湾市対象・特定健診



忙しい平日では時間が取りにくい方のために、
宜野湾市国民健康保険被保険者を対象とした「日曜健診」を実施します。
週末のすきま時間で、健康チェックをしませんか？

実施日
2026年
2月1日(日)
午前中

実施内容

宜野湾市国民健康保険被保険者を
対象とした特定健康診査(日曜健診)

会場

浦添総合病院健診センター

対象者

以下の条件をすべて満たす方

- ・年度内に40~74歳の宜野湾市国民健康保険被保険者
- ・特定健診受診券および、資格確認が可能な書類をご提示いただける方

〈お問い合わせ先〉 宜野湾市 健康増進課

- ・宜野湾市保健相談センター TEL (098)898-5598
- ・健診当日の連絡先 TEL (080)3373-5583



今回は牧港自治会の取り組みを紹介

牧港自治会

自治会の活動

- 4月 歩け歩け大会
- 5月 パークゴルフ大会
- 6月 ボウリング大会
- 7月 まちなとフェスタ(夏祭り)
- 9月 敬老会
- 11月 グランドゴルフ大会
- 1月 新年餅つき会



自治会長
又吉 隆

歩け歩け
大会



敬老会



まちなと
フェスタ



自治会の特徴

牧港は戦後地方の方が仕事を求め集い自治会に加入して地域での活動に寄与しています。静かな住宅地と国道58号線また、宜野湾バイパスからのコンベンションエリアへ移動のしやすさ、交通アクセスの良い地域です。7月には、まちなとフェスタ(お祭り)の開催で多くの区民の方々が集い夏のひと時を家族や、友人と自治会のOB会、女性部の自慢の屋台と山羊汁などを頂きながら楽しい時を過ごしています。

地域の歴史・文化

牧港の由来は、歴史上、沖縄の第一代「王」と言われる舜天(尊敦1187年~1237年)とその母(大里按司の妹)とともに、父と言われる源為朝(伝説上)を港で帰りを待ったことから、まちなととなり今の牧港に転化したものだという。琉球最古の貿易港海外の産物、文化を受け入れる窓口であった。

健康づくりの取り組み

高齢者生き生き健康教室や毎週グラウンドゴルフや民舞同好会、古典音楽同好会や女性部会での卓球、ボッチャ、等のサークル活動を活発に活動しています。地域の花植えなど地域の美化活動も積極的に活動しています。



仁愛会の理念

- 地域住民のニーズを満たす保健・医療・福祉
- 信頼と人間性豊かな保健・医療・福祉
- 働き甲斐のある職場
- 仁愛会の職員であることが誇れる企業



浦添総合病院

〒901-2102 浦添市前田一丁目56番1号

TEL:050-1721-8524 (AI予約)

TEL:0120-979-706 (予約センター)

TEL:098-878-0231 (代表)



浦添総合病院健診センター

〒901-2132 浦添市伊祖三丁目42番15号

TEL:0570-010-986



在宅総合センター

〒901-2132 浦添市伊祖四丁目16番1号

TEL:098-879-1000 (代表)

- 介護老人保健施設アルカディア
- 訪問リハビリテーションアルカディア
TEL:098-879-1000
(上記2事業所共通)
- アルカディア通所リハビリテーション
TEL:098-878-1675
- ヘルパーステーションらくだ
TEL:098-870-1026
- 浦添市地域包括支援センターみなとん
TEL:098-876-3710
- 浦添市地域包括支援センターさっとん
TEL:098-877-3103
- ことぶき指定居宅介護支援事業所
TEL:098-875-4165
- つるかめ訪問看護ステーション
TEL:098-877-0645

- 浦添市事業所内保育事業認可保育園 もこもこ保育園 TEL:098-875-7171

